

3 1) 保健医療行政（地域保健）研修プログラム

研修医氏名： _____
研修期間： _____年 _____月 _____日～ _____年 _____月 _____日
研修施設： _____

所属：名古屋掖済会病院
評価日： _____年 _____月 _____日
指導医： _____

I. 一般目標

研修医は患者を取り巻く社会的、家庭的環境と精神的状態に配慮し、安全で安心な医療を行うため、地域保健医療の様々な形態、機能を十分に理解する。

施設に入院するまで、あるいは退院後の患者に対して、老人保健施設・介護保険施設等が行う医療活動の実態を学ぶことにより、医療の全体像を理解する。病院では体験できない患者への接し方を学習する。

A 基本姿勢

- 1) 研修医は地域における保健所、特別養護老人ホーム、老人保健施設などの介護保険施設、検診・健診センター、血液センター等の機能を系統的に理解できる。
- 2) 研修医は患者がどのような地域保健サービスを必要としているかを識別し、地域の機能的連携を実施できる。
- 3) 研修医は患者の訴えを傾聴し、基本的身体診察法を基に病態を推定し、連携医療や在宅医療の必要性、緊急性、慢性病態かを診断、治療方法を理解する。
また、積極的に研修する意欲を持ち、他職種の人に礼節を持って接し、共同で仕事ができ、医師としての患者への態度が適切である。

B 診察

- 1) 基本的診察法と社会的、家庭的環境、精神的状態に配慮した総合的診察の仕方を学び、理解する。
Problem Oriented System (POS) (身体的・社会的・心理的問題解決システム)を理解する。

C 地域連携

- 1) 介護保険の制度を理解し、そのための主治医意見書を適切に記載でき、在宅療養に対応したり介護保健施設との連携を理解できる。
- 2) 市町村、自治体、保健所、福祉施設などとの連携と利用の相談ができる。肺結核、感染症、食中毒の届出義務を述べることができる。
- 3) 各種診断書、証明書を適切に発行できる。

D 危機管理

- 1) 医療事故の予防と対策について理解し、実施できる。
- 2) 院内感染症への対策を理解できる。

II-(7) 研修評価

研修全般に対する総合評価		研修医評価	指導医評価
1)	仕事の処理	A B C D	A B C D
2)	報告・連絡	A B C D	A B C D
3)	患者への接し方	A B C D	A B C D
4)	規律	A B C D	A B C D
5)	協調性	A B C D	A B C D
6)	責任感	A B C D	A B C D
7)	誠実性	A B C D	A B C D
8)	明朗性	A B C D	A B C D
9)	積極性	A B C D	A B C D
10)	理解・判断	A B C D	A B C D
11)	知識・技能	A B C D	A B C D

C. 特定の医療現場の経験

III-C-(1) 地域保健・医療

地域保健・医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

		研修医評価	指導医評価
1)	保健所の役割（地域保健・健康増進への理解を含む）について理解し、実践する。	A B C D	A B C D
2)	社会福祉施設等の役割について理解し、実践する。	A B C D	A B C D

必修項目：へき地・離島診療所、中小病院・診療所、保健所、介護老人保健施設、社会福祉施設、赤十字社血液センター、各種検診・健診の実施施設等の地域保健・医療の現場を経験すること

III-D-その他（地域保健の場において）

(1) 基本姿勢について		研修医評価	指導医評価
1)	地域における老人保健施設等の役割について理解できる。	A B C D	A B C D
2)	地域における介護保険制度が理解できる。	A B C D	A B C D
(2) 態度、接遇について		研修医評価	指導医評価
1)	時間、約束を守る（遅刻、早退、欠勤時の連絡など）	A B C D	A B C D
2)	患者、家族への思いやり	A B C D	A B C D
3)	上司、コメディカルとの協調性	A B C D	A B C D
4)	研修への意欲、積極性、責任感	A B C D	A B C D
5)	接遇、服装、身だしなみ	A B C D	A B C D
(3) 知識と技能について		研修医評価	指導医評価
1)	患者、家族などとのコミュニケーションがとれる	A B C D	A B C D
2)	患者の問題点を把握し、理解することができる	A B C D	A B C D

評価方法：A. B. C. Dの4段階とする

A（優）：確実にできる、自信がある

B（良）：だいたいできる、たぶんできる

C（可）：あまり自信がない、ひとりでは不安である

D（不可）：できない（経験なしを含む）

ゴシック体：III-D-その他は地域保健研修の場において経験が必要とされる項目

1. 研修指導体制

- 1) 各保健所、介護老人保健施設による。

2. 研修方略

- 1) 基本は講義、OJTを中心に研修を行う。
- 2) 各保健所、介護老人保健施設による。
- 3) 研修開始前に、研修先の「研修方略」を臨床研修センターに取りに来ること。

3. 週間スケジュール

- 1) 各保健所、介護老人保健施設による。
- 2) 研修開始前に、研修先のスケジュール表を臨床研修センターに取りに来ること。

4. 研修評価項目

- 1) 自己評価と指導医評価を規程に従い、研修終了後に入力する。形成的に評価を行う。
- 2) 共通Aの評価表を規定に従い入力する。

地域研修協力施設に対する研修医の評価アンケート

1. 研修前の目的は達成されましたか。
2. 指導医・スタッフの指導は理解できましたか。
3. 指導医・スタッフから熱心に指導して頂けましたか。
4. 一番の収穫（嬉しかった事、意外であったことなど）、また、今後改善してほしい点、要望など。

1. 研修前の目的は達成されましたか。
A：十分達成 B：まずまず達成 C：やや不十分 D：達成できなかった

2. 指導医・スタッフの指導は理解できましたか。
A：大変よく理解できた B：よく理解できた
C：理解できない部分があった D：理解できなかった

3. 指導医・スタッフから熱心に指導して頂けましたか。
A：大変よかった B：よかった C：やや不十分 D：不十分

4. 一番の収穫（嬉しかった事、意外であったことなど）、また、今後改善してほしい点、要望などを下記に記載してください（必須）。

